

みなみのひろば

MINAMI no HIROBA

<発行>

南地区コミュニティ・南公民館

連絡先 36-7341

R1.7.5 第416号

御協力ありがとうございました!

～コミュニティグラウンド除草作業～

今年度第1回目のグラウンド除草作業が、去る6月23日(日)に実施されました。

今回は、二区町及び二つ室が担当となり、早朝から総勢58人の御参加のもと、グラウンド内の除草や植木の刈込み作業などに汗を流していただきました。

予報では雨の心配もありましたが、当日の作業中は天気にも恵まれ、大勢の皆さんの協力により、気温の上昇に伴って元気いっぱい(笑)繁茂した雑草や立ち木の枝などをきれいにさせていただきました。

地域の共有財産であるコミュニティグラウンド。これからも皆さんの協力をいただきながら、適正に管理をしてまいりたいと思います。

参加協力をいただいた皆さん、ありがとうございました。

今年度第2回目のグラウンド除草作業を

7月28日(日)に実施いたします。

次回の担当は、一区町となりますので、

御協力をよろしくお願いいたします。



南小学校陶芸教室 を実施いたしました

マイデザイン!

学社連携融合事業の一環として、今年も南小学校と南公民館の共催により、児童を対象とした陶芸教室を実施いたしました。

この教室は、南小学校の5学年児童全員を対象に、普段の授業ではなかなか体験のできない陶芸作品づくりを、南公民館の陶芸室を使って毎年行っているものです。

今年は、6月26日(水)と27日(木)の2日間、73人の5年生が、マグカップづくりに挑戦をしました。

教室では、今年も南公民館の定期利用団体である「南陶友会」の皆さんに講師をお願いし、親切丁寧に指導をいただきました。

児童たちは、陶芸の歴史や文化などを学びながら、粘土遊びの要領で器用に形を整え、事前に考案した思い思いのデザインを施してマグカップの原型を作ることができました。

出来上がった原型は、この後約2か月をかけた「乾燥」・「素焼き」・「釉薬掛け」・「本焼き」などの作業を経て完成となります。

完成作品は全て、10月の公民館まつりで展示をしますので、是非児童たちの力作を見にきてください。

世界に一つだけのマイ・マグカップ、完成が楽しみです!



南コミ地域振興部による地域史跡保存活動として毎年実施している「親王台」の清掃作業（第1回目）を、去る6月23日（日）に実施いたしました。

当日は、コミュニティグラウンドの除草作業に引き続き、午前7時から23人の参加により親王台まわりの草刈り、枝下ろし、ごみ拾いなどを行いました。

那須野が原園空間博物館サテライトでもある史跡が地域内にあることを御存知の方も多いと思いますが、日常的な管理は地域の皆さんの協力で行われていることも是非知っていただきたいと思います。

また、地域内の史跡について詳しく御存知ない方は、是非現地に足を運び、私たちの住む那須野が原の開拓の歴史に触れていただきたいと思います。作業に参加された皆さん、大変お疲れ様でした。



南地区盆踊り大会実行委員会からのお知らせ

盆踊り大会参加団体を募集します！

参加団体にはもちろん団体賞を贈呈！

南地区の夏の風物詩、「盆踊り大会」を今年も8月3日（土）に開催します。大会を盛り上げていただく踊りの参加団体（10人以上のメンバー）を大募集しますので、参加を希望する場合は、7月19日（金）までに参加予定人数（子ども・大人別）を確認の上、南公民館（TEL 36-7341）へお申し込みください。

【雨の日の ひとりごと】

御存知の方もいるかと思いますが、7月2日は「半夏生」（はんげしょう）という暦日でした。半夏生は、節分、彼岸、土用などと同じ“雑節”と呼ばれる特別な暦日です。一説には、ハンゲショウという草の葉が半分白く化粧をして見えるようになる時季を指すと言われており、毎年7月2日頃がその暦日に当たります。

この季節に降る雨は「半夏雨」と呼ばれ、大雨になることが多いと言われています。

そんなわけで、この「半夏生」、昔から農家にとっては非常に大事な節目の日で、この日までには田植えを終了させる目安として位置付けられていたそうです。

うとうしい梅雨も、もうしばらく続きそうですが、朝から雨の降る日も、心穏やかに、楽しく過ごしたいものです。

ところで、先日“令和初”となる台風（第3号）が発生し、関東地方にも接近しました。いよいよ今年も台風シーズンの到来となりましたが、当地区ではこれまで大きな災害被害を受けることがなく、災害に対しては強い地域と思われがちです。しかし、近年の異常気象の影響で、大災害はいつ、どこで発生してもおかしくないと言われる時代です。

本市に甚大な被害をもたらした那須水害から間もなく21年…当時の記憶も風化しつつある中、もう一度、家庭や地域で防災を考え直す必要はないでしょうか。

今後も随時、「みなみのひろば」などで皆さんと一緒に地域防災について考えていこうと思います。

